

川内原子力発電所 1号機 所内電源設備点検作業中の死傷事故の概要

1 発生日時

平成 22 年 1 月 29 日午前 7 時 7 分

2 事故概要

川内原子力発電所 1号機第 20 回定期検査中の所内電源設備の点検時、接地器具取付作業中に、アークガスが噴出し作業員 7 名が熱傷を負った。

症状の重かった協力会社社員や当社社員 3 名が救急搬送された。

そのうち 1 名(協力会社社員)がご逝去され、入院治療となった 2 名のうち、1 名(当社社員)は職場復帰し、1 名(協力会社社員)は治療・リハビリを行っている。

3 再発防止への取り組み

事故発生後の平成 22 年 2 月 22 日、当社は、事故状況及び推定原因及び再発防止策を取り纏め、電気事業法に基づき経済産業省へ報告書を提出した。

再発防止については、可能性のある全ての推定原因を踏まえ、以下を実施した。なお、教育については継続的に実施している。

(1) 手順、注意事項等の明確化

(2) 関係者への周知、教育

また、国への報告以降、当社のマネジメントシステムを改善するため、当社組織の要因を抽出する根本原因分析を実施している。

なお、当社としては、警察や検察による捜査結果等も踏まえ根本原因分析を行い、国への最終報告を行いたいと考えている。

以 上